

ふじのみやし

富士宮市の

けいかん

「景観」まちづくり



けいかん 「景観」ってなんだろう

「景観」とは、わたしたちのまわりに見える風景のことです。

例えば、富士山の見える風景、毎日通っている学校の建物や商店街のまちなみ、神社やお寺などの古い建物など、色々なものが集まって、まちの景観を作っています。

「景観」は、そのまちの「かお」や「せいかく」です。景観がきれいに整っていると、気持ちよく暮らすことができ、外から来た人達にも喜ばれます。

富士宮市の景観についてみんなで考えてみましょう。

〈ことばの成り立ち〉

景

「景」色、風「景」、光「景」
自然やまちの見た目を
あらわすことばです。

観

「観る」
じっくりと見ること
よく観察する、味わう
という意味があります。

富士宮市の代表的な景観



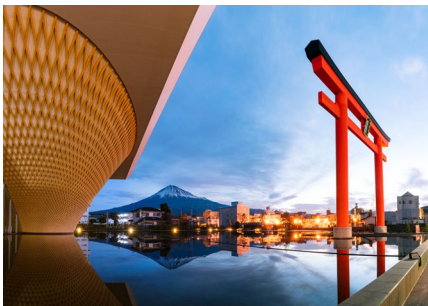
ダイヤモンド富士



富士山本宮浅間大社



茶畑と富士山



富士山世界遺産センター



牛と朝霧高原



興徳寺

よい景観・いまいちな景観って？



左の写真は1992年の浅間大社前交差点、右の写真は同じ場所の2022年の様子です。どちらの景観が「よい景観」で、どちらが「いまいちな景観」でしょうか。

多くの方は、右の写真の方が居心地が良く、魅力的な景観だと感じています。なぜでしょうか？

みんなが「良い」と感じる景観と、「いまいち」と感じる景観には、次のような特徴があります。

※これはあくまで一例です。

「よい景観」の一例



はな みどり しぜん
花や緑、自然



しぜん なじ たてもの
自然に馴染む建物



ふんいき ほそう
雰囲気のある舗装

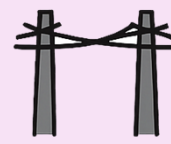
「いまいちな景観」の一例



まわりになじまない派手な色や形



たか おお たてもの
高すぎる・大きすぎる建物



でんちゅう でんせん じんこうぶつ
電柱や電線などの人工物

「景観」は見る人によって感じ方がちがうけれど、多くの方が良いと思う景観、いまいちだなと感じる景観には特徴があるよ。



ふじのみやし けいかん 富士宮市ならではの景観

みんなが居心地よく、素敵に感じる景観づくりのためには、そのまちならではの良さを生かした景観づくりが大切だよ！



©富士宮市さくやちゃん

富士山をはじめ、美しい自然や歴史ある文化に恵まれている富士宮市では、豊かな湧水を活用した産業の景観や浅間大社の門前町として発展したまちなかの景観など、個性ある景観が育まれています。



富士山と田園の原風景



浅間大社の流鏝馬



白糸ノ滝と富士山

けいかん まも 景観を守る・つくるってどんなこと？

まちの景観を守り、より良くしていくためには、そのまちならではの良さを生かすことが大切です。「景観まちづくり」とは、今ある良い景観を守りながら、より魅力的な景観をつくるための取組のことです。

たとえば、次のようなことを行います。

- まちをきれいにする清掃活動
- 花や緑を増やして、自然を感じられるまちにする
- 建物の色や形をそろえて、まちなみを整える
- 電線や電柱をなくして、空や景色をすっきり見せる

こうした取組には、次のような効果があります。

- 住環境の向上：居心地よく暮らせるまちになります
- まちの魅力向上：住みたい、訪れたいと思う人が増えます
- 地域のつながり強化：協力して取り組むことで、人と人のつながりが深まります
- 自然や文化の保全：緑を増やしたり、歴史ある建物を大切にできます

ふじのみやし けいかんけいかく 富士宮市の「景観計画」

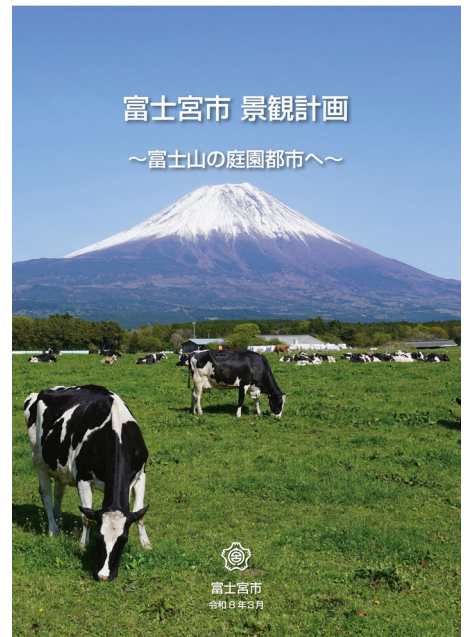
「景観計画」とは、まちの景観を守る・つくるために
富士宮市が進める取組をまとめた計画です。

景観まちづくりは、市役所だけで実現できるものではありません。住んでいる人、お店や会社で働く人と一緒に取組を進められるよう、ルールや体制づくりについても計画をつくっています。



©富士宮市さくやちゃん

富士宮市ならではの景観を大切にしながら、今ある良い景観を守り、さらに良い景観をつくるための計画だよ。



おも とりくみ ～主な取組～

富士宮市景観計画では、景観を守る・つくるために、以下の取組を行っています。

1. 景観づくりの目標を定めます
2. 建物などをつくる際のルールを定めます
3. 景観上、大切な建物などを守ります
4. 市が取り組む景観づくりのプロジェクトを定めます
5. 景観づくりを進めるための体制をつくります



市のホームページから富士宮市景観計画を確認できます。

1 景観づくりの目標を定めます

みんなが同じ目標に向かって景観づくりに取り組めるよう、富士宮市が目指す景観を「景観形成の目標」と6つの「将来像」として定めています。富士宮市ならではの、富士山や自然、文化を大切に作る目標としています。

〈景観形成の目標〉

富士山の庭園都市へ

〈将来像〉

① ふるさとの原風景たる自然環境を大切にするまち

まちの人たちにとって大切なふるさとの風景で、たくさんの人が訪れる富士宮市の豊かな自然を守り続けるために、より美しいまちを目指します。

② 生業として育まれた農村景観を継承・充実するまち

農業や地域の人たちの繋がりを大切にしながら緑豊かな農村の景観を守り、農業と観光を組み合わせてより充実した農村の景色をつくっていきます。

③ 富士山と調和し個性を生かす市街地景観を創出するまち

家やお店などが周りの景観となじみ、そのまち並みが自然と調和することでよい印象のまちになります。富士宮らしさを生かしながら、まちづくりをしていきます。

④ 場所に適した公共施設景観を創出・維持するまち

道路や川、学校などを場所に合わせて景観となじませることで、たくさんの人に長く使ってもらえるようにします。まちの人たちと一緒に、きれいなまちを守っていきます。

⑤ 富士山などに因む深い歴史を感じるまち

富士宮市の特徴である歴史のある景観をこれからも守り続けながら、周りのまち並みともなじませて、より歴史を感じられるまちをつくっていきます。

⑥ 多くの人に感動を与える富士山眺望があるまち

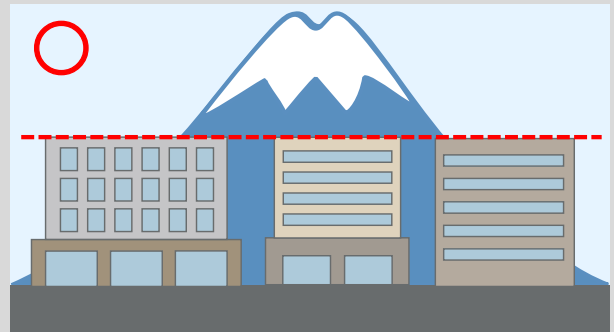
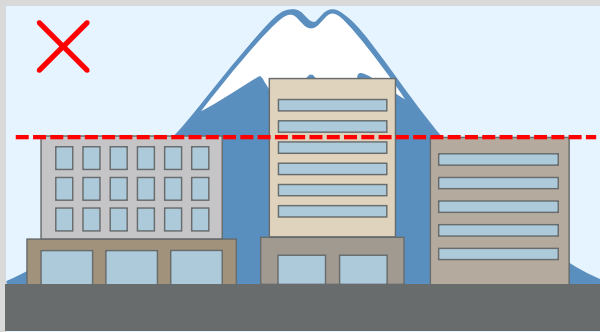
富士宮市の人、富士宮市を訪れた人も感動させる富士山の景色を守り続け、より良い眺めを楽しめるまちを目指して整備していきます。

2 たてもの とき さだ 建物などをつくる時のルールを定めます

大きな建物をたてる時や、景観上大切なエリアに建物をたてる時のルールをつくっています。建物を建てたい人は、事前に市役所に届け出て、その建物がルールにあった建物か、まわりの景観にあっていかなどを市と話し合います。

★建物の高さを整える

新しい建物を建てる時は富士山や天子山地などへの眺めを遮らないような高さにします。また、周辺のまち並みとなじむように建てます。



★建物などの色

豊かな自然景観を守るために、鮮やかさを抑えた落ち着いた穏やかな色を選びます。建物を目立たせるための色（アクセントに使う色）を使う面積を制限します。

★壁面や屋根の形

歩行者の目に留まりやすい建物の1階や2階は、たくさんの人に長く愛されるようなデザインにします。自然に囲まれた場所では、木材や石など自然の材料を積極的に使います。

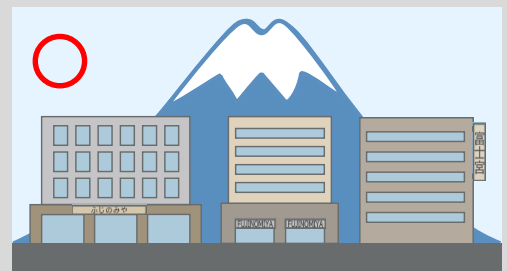
屋根は、周辺のまち並みとなじむような形にします。

★工作物の配置

歩行者から見えない場所や、植物で隠すようにして配置します。周りの環境に配慮して、環境になじむようにします。

★看板のルール

屋上への広告などは、建物と一体化するように、できるだけ小さくします。周辺のまち並みを配慮して、落ち着いた色を使います。



3 景観上、大切な建物などを守ります

し してい けいかんじゅうようけんそうぶつ
〈市が指定している景観重要建造物〉



ふじ たかさごしゅぞう
富士高砂酒造



まきの しゅぞう
牧野酒造



いのかしら くみんかん
井之頭区民館



いでけこうらいもん およ ながや
井出家高麗門及び長屋



ふじさんかんきょうこうりゅう
富士山環境交流プラザ

みんなが知っている建物はいくつあるかな



4 市が取り組む景観づくりのプロジェクトを定めます

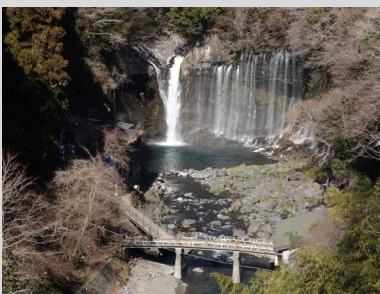
富士宮市が景観まちづくりのために特に力を入れて取り組む6つのプロジェクトを市民や企業などと一緒に進めていきます。

〈主なプロジェクト〉

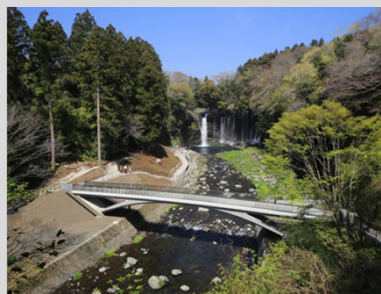
白糸ノ滝・周辺地区整備プロジェクト

名勝および天然記念物である白糸ノ滝は、豊かな自然と歴史に包まれた富士宮市を代表する大切な場所です。この美しい景観が未来に引き継がれるよう整備をしていきます。

「滝つぼ」と「滝見橋」の整備



せいびまえ
(整備前)



せいびご
(整備後)

人工的な建物を取り除き、滝つぼ全体の美しさが引き立つデザインとなりました。

「富士山・白糸ノ滝テラス」の整備



せいびまえ
(整備前)



せいびご
(整備後)

電柱がなくなり芝生広場が整備され、富士山がきれいに見える心地よい空間となりました。

中心市街地整備プロジェクト

浅間大社の周りを、世界遺産富士山にふさわしい歴史やおもてなしを感じられるまち並みになるように整備を進めています。



かんだがわ ひろば
神田川ふれあい広場



かんだがわひろば
神田川広場

富士山眺望点整備プロジェクト

富士宮市では、市内の多くの場所から富士山を眺めることができます。富士山がよく見える場所をいつまでもきれいに眺めるように守っていきます。



道の駅朝霧高原



朝霧さわやかパーキング



朝霧自然公園



田貫湖



富士宮口五合目



西白塚駐車場



富士山さくらの園



天母山自然公園



大石寺



潤井川河川敷緑地



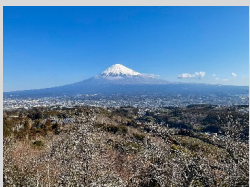
城山公園



富士宮市役所



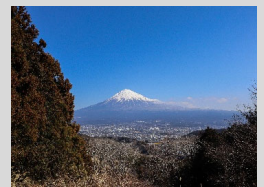
白尾山公園



明星山公園



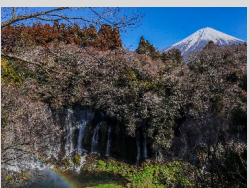
興徳寺



羽鮒山展望台



白鳥山



白糸ノ滝



富士山本宮浅間大社



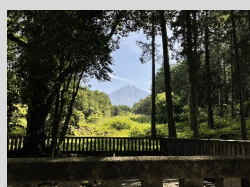
白糸自然公園



富士山世界遺産センター



狩宿の下馬ザクラ



山宮浅間神社

〈そのほかのプロジェクト〉

- 朝霧地区景観形成ワークショップ会議プロジェクト
- フジイチプロジェクト（ぐるり・富士山風景街道）
- 景観学習プロジェクト

5 景観まちづくりを進めるための体制をつくります

景観まちづくりは、市役所だけではできません。住んでいる人、お店や会社で働く人と協力して景観まちづくりを行います。

市役所の役割

景観まちづくりの目標を立てて、みんなをリードします。



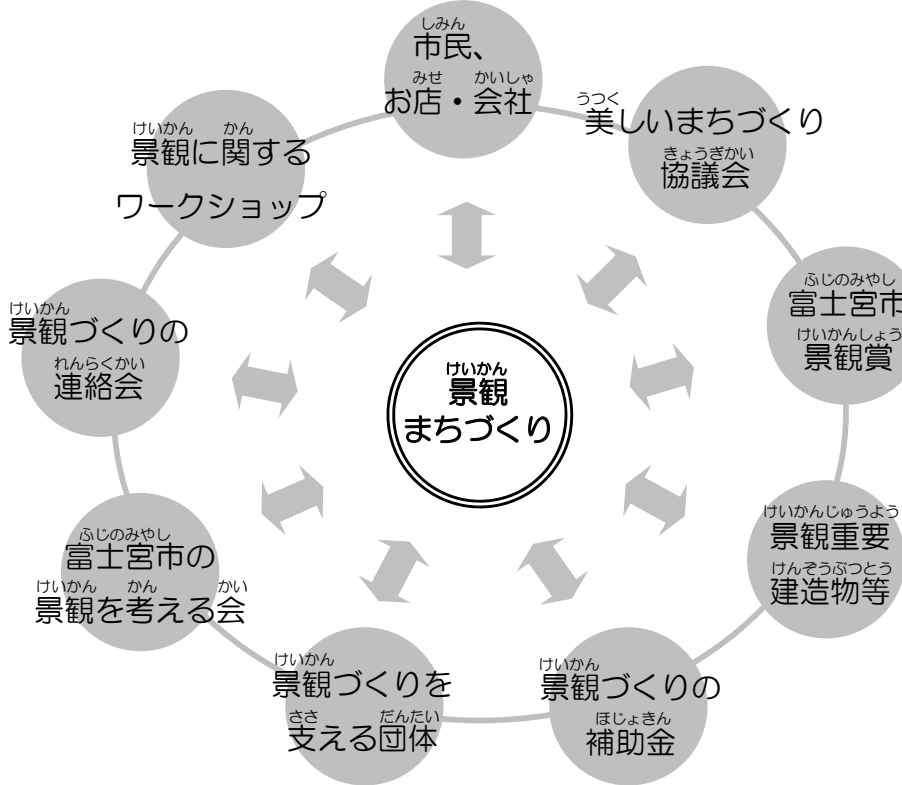
市民の役割

自分も景観づくりのメンバーの一人だという気持ちで、身近なことから行動しましょう



お店や会社の役割

まちの景観に合わせたお店づくりなど、市役所のお願いに協力しましょう。



景観まちづくりのイメージ

富士宮市では、景観まちづくりを進めるための仕組みが沢山あるよ。私たちが出来ることを次のページで紹介します。



みんなにもできる 景観まちづくり

景観まちづくりは、みんなで協力して、まちをもっと素敵にしていけることです。景観計画に定められているような、市役所の人や建物をたてる人、お店の人たちができることだけでなく、もっと小さな、身近な取組から進めることができます。



©富士宮市さくやちゃん

小さなことからでも、みんなの行動の積み重ねが、このまちの景観をつくっていくんだよ！

ゴミを拾ってまちをきれいにしよう

道や公園に落ちているゴミを拾うだけで、まちの印象は大きく変わります。きれいなまちは、みんなが気持ちよく過ごせる場所になります。



自分の家の周りを掃除しよう

家の前や庭をきれいにすることは、まち全体を美しくする第一歩です。小さな取組が集まることで、まちの景観が守られます。



花や緑をそだてよう

花や木を植えると、まちにいろどりとやすらぎが生まれます。緑が増えることで、自然と調和した景観をつくることができます。



まちのいいところを見つけよう

自分のまちの魅力を知ることは、景観を大切にする第一歩です。「ここが好き」と思える場所を見つけて、守っていきましょう。



景色を写真にとってみよう

きれいな景色を写真に残すことで、まちの良さを再発見できます。写真を通して、景観の大切さを感じることができます。



発行：富士宮市

編集：富士宮市 都市整備部 都市計画課

〒418-8601 静岡県 富士宮市 弓沢町 150番地

TEL：0544-22-1408

E-mail：toshi@city.fujinomiya.lg.jp